

調査研究報告書

研修項目：第3回市町村長等・議会議員特別セミナー

日 時：令和8年1月19日（月）・20日（火）

場 所：全国市町村国際文化研修所

参 加 者：小浦智夫議員、泉 清秀議員

講 師：京都大学名誉教授 広井良典氏

東京大学特任教授 湯浅 誠氏

株式会社SHONAI代表取締役 山中大介氏

高松市長 大西秀人氏

1 ウェルビーイングと人口減少社会のデザイン

はじめに：人口減少社会の意味

- ・ウェルビーイング（幸福）への関心
- ・ウェルビーイング（幸福）をどう理解するか
- ・関連する政策（1）コミュニティとまちづくり
- ・関連する政策（2）若者支援と「人生前半の社会保障」
- ・関連する政策（3）自然資本と伝統文化

終わりに：ウェルビーイングと人口減少社会のデザイン

(1) 人口減少社会の意味するもの

新たな「豊かさ」や幸福への模索

限らない「拡大・成長」から「持続可能性」へ

(2) 人口減少社会への基本的視点

ア 若者世代のローカル志向

愛郷心を卒論のテーマにする、ローカル志向は時代の流れ

イ 「地域へ着陸」の時代

(3) ウェルビーイング（幸福）への関心の高まり

(4) 日本において幸福度が低い要因

①社会的サポート、②人生における選択の幅、③寛容性、いずれも人と人との社会的な関係性に関わる。（「都市型コミュニティ」の重要性）

(5) ウェルビーイング（幸福）への関心の高まりの背景

ア マクロ的文脈・・・経済社会のレベル

「豊かさ」の意味の再考、「GDPに代わる指標」をめぐる議論、地球環境問題の浮上

イ ミクロ的文脈

「ポジティブ心理学」の発展、健康・福祉に関する議論

2 こども食堂からつながる地域・社会

こども食堂とは

参加に条件がない・・・78.4%

高齢者も参加・・・62.7%

多世代交流が主たる目的・57.8%

子ども専用・・・4%

生活困窮者限定・・・5%

・人をタテにもヨコにも割らない公園のような場所（年齢・属性・所得で割らない）

・地域にはもともと線はないので、住民間に線を引きたくない

・2012年に東京都大田区で誕生

・2016年には319箇所

・2025年には全国で12,601箇所

子どもを真ん中に置いた多世代交流の地域の居場所であったからこそ増え続けた要因である。

3 地方の可能性を世界経済とつなぐ

株式会社SHONA Iの事業展開（概要）

SHONA I 経済圏構想（地方から100億円企業を1,000社創出）

→地方の成長エコシステム→農業事業、観光事業、企業変革支援事業

→不動産事業（SHONA I ESTATE）

（1）農業分野

有機米栽培や節水型栽培など環境配慮型農業を推進

AIやロボット（例：アイガモロボ）を活用し、生産性・付加価値を高め、国内外の市場へ展開

（2）観光分野

地方の自然・文化を活かした観光資源づくりを実施

代表例：「スイデンテラス」ホテル運営等により地域への目的地創出

富裕層向けの特化型旅行サービスの連携も推進

（3）企業変革支援

地方の中小企業に対して経営変革・人材マッチング・コミュニティ支援を提供

「100億シンクタンク」や「チイキズカン」などのプラットフォーム事業を展開

（4）不動産事業

2025年に子会社設立。地方企業のCRE戦略支援、遊休地の価値化を実施

都市部・地方の不動産を活用し、企業価値最大化を図る

（5）戦略の全体像：「SHONA I 経済圏構想」

地方企業の成長を「農業 × 観光 × 企業変革」という3つの領域でビジネスモデル化

2040年までに地方から売上100億円の企業を1,000社創出するという野心的な中長期ビジョンを掲げている。

4 人がつどい未来に躍動する世界都市・高松を目指して

(1) 高松市の現状と課題

高松市は、四国の広域拠点として発展を続けている一方、人口減少・少子高齢化の進行、中心市街地の活力低下、公共交通の利用減少など多様な課題を抱えている。地域コミュニティの希薄化や防災力の強化も重要な論点であり、都市の持続性を確保するため、社会構造の変化に対応した総合的な施策展開が求められている。

(2) 持続可能なまち高松

持続可能な都市形成に向け、高松市は環境負荷の低減、公共交通の利便性向上、再生可能エネルギーの導入促進、循環型社会の構築を重点課題として位置付けている。瀬戸内の自然環境を保全しつつ、都市機能の効率化と生活の質の向上を図ることで、将来世代に継承可能な都市基盤の確立を目指している。

(3) 創造性豊かなまち高松

高松市は、瀬戸内国際芸術祭をはじめとする文化・芸術資源を活用し、創造性を核とした地域活性化を推進している。市民が主体的に参画し、新たな価値を創出できる環境整備を進めることで、産業振興や交流人口の拡大につなげている。創造的人材の育成と文化活動の基盤強化が重要である。

(4) 子育てするなら高松

安心して子どもを産み育てられる環境整備を重点施策として掲げ、保育サービスの充実、教育環境の質向上、相談支援体制の強化を進めている。都市機能と自然環境が近接する特性を生かし、家庭・地域・行政が連携した子育て支援を推進することで、子育て世代に選ばれる都市を目指している。

(5) ほっとけん市民みんなでつくるほっとかんまち高松

「ほっとけん」は、市民相互の支え合いと地域への主体的参画を促す高松市の理念である。行政・市民・企業・団体が協働し、安心と温かさを実感できる地域社会の形成を図り、日常の小さな行動や気づきを積み重ねることで、誰もが居心地よく暮らせる“ほっとかん”なまちづくりを推進している。

5 所感

(1) ウェルビーイングと人口減少社会のデザイン

ウェルビーイング（幸福）とは、様々な社会的な関係性の中で、一人ひとりが、環境に適応した生き方であったり、農業や自然に触れあったり、そこから価値観を見い出していくことではないかと感じました。

(2) こども食堂からつながる地域・社会

本市にもこども食堂は10箇所あり、そのうちの半分には一度参加したことがありますが、子どもの数よりもスタッフや大人の参加者が多いと感じたため、私は「こども食堂」のネーミングを「地域ふれあい食堂」などに変更したほうがよいのではないかと考えていました。しかし、今回の講演で、全国にも同じ意見の方がいて、ネーミングを変えてみたところ急激に子どもも大人も参加者が激減した例があったとのことで、「こども食堂」の意味は、大人たちが子どもの

ために皆が協力するものであると一般に広まっています。ネーミングは単純な言葉の意味だけではなく、むしろ、子どもだけでなく、大人も高齢者も障がい者など地域の誰でも「こども食堂」に集ってきてコミュニケーションの場をつくっていくことが、これからの時代に即した新たな「こども食堂」の在り方であって、それぞれの地域に合った個性のある「こども食堂」であると感じました。

(3) 地方の可能性を世界経済とつなぐ

山形県で地方創生に取り組む株式会社SHONA Iは、「第一次産業を最大のポテンシャルとする」、「日本の農業を世界のグリーン市場とつなぐ」、「地方資源を世界の観光市場とつなぐ」、「地方企業が世界を変える」を掲げ、地域から新たな価値を創出しています。中でも私が強く関心を持ったのは農業分野です。日本の食料自給率は、過去30年間40%前後で推移しており、多くの食品を輸入に頼る現状は、農業政策や食料安全保障の観点から大きな課題となっています。代表取締役の山中氏は日本のコメに着目し、田んぼの雑草を抑える自動ロボットの開発製造など、新技術を積極的に導入しています。低コスト栽培や新たな稲作体系の提案にも取り組んでおり、こうした挑戦が農業を日本の成長産業へと押し上げる原動力になることを期待する講演でした。

(4) 人がつどい未来に躍動する世界都市・高松を目指して

高松市長の講演を拝聴し、同市がいかに強い意思と戦略性を持ってスマートシティを推進してきたかを実感しました。

高松市は、平成28年のG7香川・高松情報通信大臣会合を契機に、全国に先駆けてスマートシティへの取組を本格化されました。さらに令和3年には「スーパーシティ構想」を国へ提案され、結果としては不採択であったものの、「不採択になっても、計画したことはやる」という市長の言葉が非常に印象的でした。挑戦そのものを市の成長の糧とし、国の補助制度も活用しながら着実に実装へとつなげている姿勢に、大きな学びを感じました。

具体的な取組として、「たかまつセーフティマップ」による災害情報の発信も、デジタル技術を活用した市民サービス向上の一例と言えます。

さらに、レンタサイクルの利用データを収集・分析し、観光施策へと活用している点や、157社(団体)が参加する協議会において農業分野や交通事故対策の実証実験を進めている点など、民間との積極的な連携も印象的でした。実証実験に独自予算を確保していることから、本気度が伝わってきます。

また、庁内公募で選ばれた若手・中堅職員によるデジタル特命チームの設置は、職員の意欲を引き出し、政策提言を事業化へとつなげる仕組みとして大変参考になりました。組織の中に挑戦を後押しする土壌をつくるのが、持続的な改革の鍵であると感じました。

今回の講演を通じて、まずは自治体として国や県の制度に積極的に手を挙げる姿勢を持つこと、そしてその中で意欲ある職員のモチベーションを高める仕組みづくりが重要であることを強く認識しました。挑戦を恐れず、挑戦を通じて組織を成長させる、その姿勢こそが、これからの自治体経営に求められているのだと感じた講演でした。